

第11次（2022～2024年度）中期RC基本計画と2024年度実績

【評価】 達成 わずかに未達成 未達成

環境保全

2022～2024年度の目標

- ・省エネルギー量：6,000kL（3年間）
- ・エネルギー消費原単位：対2019年度比5%削減（年1%削減96.9L/トン生産量）
- ・2030年度CO₂^{※1}排出量：対2014年度比30%以上削減（国内グループ会社含む）
- ・道路輸送における燃料消費原単位：対2020年度比4%削減（年1%削減33.7L/千トンキロ）
- ・モーダルシフトの推進
- ・水使用量原単位：2020年度以下に削減（8.45m³/トン生産量）
- ・ゼロエミッション^{※2}を維持：0.1%以下（外部最終埋処分量/廃棄物発生量）
- ・PRTR法^{※3}対象物質排出量：99トン/y^{※4}以下

2024年度実績

- ・省エネルギー量：7,693kL^{※5}（22,710kL/3年間）
- ・エネルギー消費原単位：11.6%増加^{※5※6}・CO₂排出量：16.8%削減^{※5※7}
- ・道路輸送における燃料消費原単位：1.1%増加
- ・モーダルシフトの推進継続中・水使用量原単位：対2020年度比7.7%増加
- ・ゼロエミッションを維持・PRTR法対象物質排出量：84.9トン/y

【重点活動】

- ①省エネ活動推進、廃棄物・PRTR法対象物質の排出量削減のための技術的検討を推進した。
- ②カーボンニュートラル実現を目指し、CO₂排出量削減を推進した。
- ③構築した算定システムを用いて、製品カーボンフットプリントの顧客要望に迅速に対応した。
- ④フロン使用機器の管理を確実に実施し、排出抑制に努めた。
- ⑤グループ会社を含め環境貢献製品の認定を推進した。

※1 排出削減目標は温室効果ガス（GHG）を対象としているが、そのほとんどが二酸化炭素（CO₂）であるためCO₂と記載
※2 ゼロエミッション：外部最終埋処分量が廃棄物発生量の0.1%以下
※3 PRTR法：正式名称は「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」
※4 PRTR法改正のため、目標を再設定
※5 2023年度法改正（省エネ法、温対法、フロン法）により、各種係数が改定
※6 省エネ法改正により、燃料として利用した廃油はエネルギーとして扱うようになったが、基準年との比較のため廃油分を除いて算出
※7 カーボンオフセット都市ガスの購入によるカーボンクレジットのオフセット分6.9%を含む

保安防災

2022～2024年度の目標

- ・A級^{※8}、B級^{※9}保安事故ゼロ（重大保安事故ゼロを達成する）

2024年度実績

- ・A級保安事故 0件・B級保安事故 1件

【重点活動】

- ①保安力第三者評価結果の活用、保安月間の取り組みなどで安全優先風土の醸成を図った。
- ②計画的なリスクアセスメントなどのトラブル未然防止活動を実施した。
- ③老朽化対策、地震対策などを計画的に実施した。
- ④保安管理システムの継続的改善を図った。
- ⑤外部教育、事業所の教育・訓練を計画的に実施し、その充実を図った。

※8 A級：石油化学工業協会の強度レベルに準じた日触法による強度レベル9以上
※9 B級：石油化学工業協会の強度レベルに準じた日触法による強度レベル3以上9未満

労働安全衛生

2022～2024年度の目標

- ・休業災害^{※10}ゼロ・不不休災害^{※11}ゼロ（協力会社含む）

2024年度実績

- ・休業災害 2件・不不休災害 7件

【重点活動】

- ①安全基本活動の推進などのトラブル未然防止活動を実施した。
- ②労働災害事例の水平展開の確実な実施などにより計画的な安全対策を実施した。
- ③各種安全活動状況の確認とその継続的改善を図った。
- ④職場安全教育を計画的に実施し、教育・訓練の充実を図った。
- ⑤安全教育、パトロールなどにより協力会社の安全活動を支援した。

※10 休業災害：治療に1日以上休業を要する場合
※11 不不休災害：治療に休業を要しない場合

化学品安全

2022～2024年度の目標

- ・化学品問題（法的・社会的）ゼロ

2024年度実績

- ・化学品問題 0件

【重点活動】

- ①国内外の化学品管理法令に関する社内教育、説明会を計画的に実施した。
- ②安衛法改正など、法令要求に準じたSDSの改訂を法期限内に実施した。
- ③国内外法規制の法的義務や当局要請に対し、各種届出、情報提出を指定期限内に適切に実施した。

品質

2022～2024年度の目標

- ・重大品質クレームゼロ
- ・品質に関するコンプライアンス遵守と品質重点活動により、顧客満足の向上を図る

2024年度実績

- ・重大品質クレーム 0件
- ・顧客満足の向上を図るための品質重点活動を完遂

【重点活動】

- ①監査、審査、品質会議などを通じて品質マネジメントシステムを有効活用し、継続的改善を図った。
- ②品質クレーム・トラブルの未然防止活動を計画通り推進した。
- ③品質教育・啓発を計画通り実施し、品質マインド醸成に取り組んだ。

社会とのコミュニケーション

2022～2024年度の目標

- ・ステークホルダーとの対話、情報公開の実施

2024年度実績

- ・WebサイトにてRC活動報告の公表
- ・TCFDレポートの発行・改訂

グループ会社へのRC展開（グループ会社の共通項目）

2022～2024年度の目標

- 1) 環 境 保 全：エネルギー消費原単位の削減
CO₂^{※1}排出削減目標の設定（海外グループ会社）
外部最終埋処分量の削減（国内グループ会社）
廃棄物発生量の削減（海外グループ会社）
PRTR法対象物質の排出量削減（国内グループ会社）
- 2) 保 安 防 災：災害ゼロ、事故ゼロ（日本触媒A級、B級保安事故相当）
- 3) 労 働 安 全 衛 生：休業災害ゼロ
- 4) 化 学 品 安 全：化学品問題ゼロ（法的・社会的問題）
- 5) 品 質：重大品質クレームゼロ
- 6) 社会とのコミュニケーション：ステークホルダーとの対話、適正な情報公開

2024年度実績

- ・エネルギー消費原単位 12社中5社が削減
- ・外部最終埋処分量 前年度比27.7%増加（国内グループ会社）
- ・廃棄物発生量 前年度比2.7%削減（海外グループ会社）
- ・PRTR法対象物質排出量 前年度比40.6%増加（国内グループ会社）
- ・災害 0件・事故 1件・休業災害 4件・化学品問題 0件
- ・重大品質クレーム 0件・環境レポート公表、地域行事参加

【重点活動】

- ・グループ会社へのRCヒアリング、監査を行い、グループ全体のRCレベルの向上を図った。